

⇒ 研修の趣旨

遠隔医療への期待は高い一方で伸び悩んでいると言われています。遠隔医療に携わる従事者の教育研修の機会の不足が原因の一つと考えられています。遠隔医療は、単純な機器ではありません。各職種、施設管理者、地域行政関係者が、各々の役割を理解して、一丸となった取り組みが必要です。そこで国内で初めての総合的な遠隔医療のカリキュラムによる研修を開催いたします。毎年好評の本研修も4年目を迎えました。更に充実したプログラムを準備して、皆様をお待ちしております。

- 多職種の医療・介護者、施設管理の職員、医療行政担当者など、幅広く遠隔医療に関わる皆様を対象とします。
- 遠隔医療の診療技法を講義と実機を用いた実習を取り混ぜて、実践的に学びます。
- 遠隔医療の制度や診療報酬、技術など基礎的事項を学びます。
- 三日間の集中講義で、短期間に総合的に学びます。
- 6つのコースに分かれています。

⇒ 開催時期

東京会場 平成30年2月16日(金)～18日(日)

大阪会場 平成30年2月23日(金)～25日(日)

両会場とも同じ内容の研修です。いずれか一方をご受講ください。

⇒ 受講料

無 料

(受講料・教材・参考書・実習)

⇒ 対象者(受講資格)

遠隔医療に携わる(予定も含む)以下の皆様です。

- 医療機関に勤務する医師、看護師、薬剤師等の医療従事者・介護施設に勤務する介護職の方々
- 地方公共団体の医療担当部局等に勤務する職員
- その他遠隔医療に携わる者(例:保健師、情報システム担当者、システムベンダー職員)

⇒ 定員

各会場・各コース **最大 60人**

(応募者多数の場合は選抜といたします)

コース毎に
お申込みください

▶ 全般の学習を推奨しますが、
参加日程に制約あれば
選択コースのみ学ぶことも可能です。

⇒ 修了証

- ✓ コース履修者には、各コースの修了証を発行します。(後日郵送)
- ✓ コース履修条件は、各コース内の全科目受講とレポート提出です。

⇒ 講師

厚生労働科学研究班や日本遠隔医療学会の著名な研究者や実践家が多数揃います。

講
師
予
定
者

酒巻 哲夫(高崎市医師会看護専門学校)、長谷川 高志(日本遠隔医療協会)、森田 浩之(岐阜大学)、琴岡 憲彦(佐賀大学)、吉嶺 裕之(井上病院)、鈴木 亮二(東北大学)、佐藤 大介(国立保健医療科学院)、松本 浩樹(前橋工科大学)、郡 隆之(利根中央病院) ほか